
ooo after ～夜天の主と欲望の王～

a-o-w

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

o o o a f t e r 　＼夜天の主と欲望の王＼

【Nコード】

N7376Z

【作者名】

a—o—w

【あらすじ】

今までずっと一緒に戦ってきた『腕』と再び再開するため旅が続けている
無欲な青年、「火野 映司」が旅の途中でたどり着いたのは、魔法文化が発達した世界、「ミッドチルダ」だった。

そこで映司は「4人の守護騎士」と、
「夜天の主」に出会い、

とある事件に巻き込まれていく…。

「夜天の主と欲望の王」(前書き)

今回初めての小説の投稿です。

はつきりいって文章力と国語力は0に等しいです。なるべく見てくださる皆様にわかってもらえるよう努力していきますのでよろしくお願いします。

あとスマホでの投稿なので途中 ん? となる

ことがあるかもしれません。

ご了承ください。

私の完全な自己満足な小説なので完成度は

あまり期待しないでください。

あと小説を見て、気分が悪くなった方は

閲覧をやめてください。文句、クレームも

一切受け付けません。

〈夜天の主と欲望の王〉

暗い森の中、

少し変わった格好をした

20代ぐらいの青年が歩いていた。

??? 「はあ…はあ… 完全に迷ったなあ、携帯は繋がらないし、ここがどこなのかわからないし、はあ…」

その青年は旅をしている。

一緒に戦ってきたかけがえのない『腕』を探すために。

??? 「…ま、まあなんとかなるでしょ、なんにも持ってないけど、明日の『パンツ』はちゃんとあるし！」

青年はまた再び歩き始めた。先の見えない旅の出口を目指して…

彼、青年の名は — 火野 映司 —

またの名を、 『仮面ライダーオーズ』

001話 世界の破壊者とパンツと異世界

映司「…結構歩いたなあ、でもいくら歩いても 木 ばっかりだなあ」

無欲な青年、火野 映司 は、いまだに森をさまよい歩き続けていた。

映司「おゝい、誰かあ！ いませんかあゝ！？
助けてくださあゝい！！ ……いるわけないか、
…困ったな、お前だったらどうする？

…… —アंक— 」

映司はポケットから2つに割れた『メダル』を取りだし、悲しげな顔をしてそれを見つめる…。

映司「お前がいなくなってから、毎日が寂しいよ、アंक。いままでお前を復活させるため、いろいろな国を旅してきたけど何一つ手がかりがなかったよ…、なんかもう、やっぱ無理なのかな…」

その時、いきなり木から果物が落ちてきて、映司の頭に…、

—ゴンッ！—

映司「…ッ！ ……いってええエエエ！！」

見事 hit した。

映司「…ははッ！ そうだよな、俺、何弱気になってるんだろう、ごめんアंक！まだ俺諦めないから！絶対お前を見つけ出すから！」

映司は空に向かって叫びだした。

「必ず、お前を、見つけ出すからぁッ！！！」

叫び終わった後、映司は落ちてきて果物を手に取り、食べながら歩き出す。

映司「よし、頑張ってこの森から抜けだすぞ！次はこっちにいった

『おい、オーズ…』

…ん？ だ、誰！？」

どこからか、声が聞こえてきた。

「…？」「こっちだ、うしろだ。」

映司「うしろ？…あ！ あなたは！？」

そこに立っていたのは、

かつて「世界の破壊者」と言われた者、

『仮面ライダーディケイド』だった。

映司「お久しぶりです！ディケイドさん！
ショッカーの件以来ですね♪」

ディケイド「ディケイド『さん』ってお前…
まったくお前を呼びに『この世界』に来てみれば、お前こんなところ
で何してるんだ？」

映司「いや、旅してたら道に迷っちゃって、ははッ！、…ん？俺を呼びに来たってどういう意味なんですか？」

その場の空気が一気に変わった…。

デイケイド「いいか、よく聞けオーズ…、お前はこれからある世界に行ってもらう、そしてお前には『ある事件』を解決してもらう、悪いがこれは『オーズ』にしかできないことだ、だいたいわかったな？」

映司「『だいたいわかったな？』…って全然わからないですよ！一体なにがどうなってるんですか！？だいいち、俺はもうオーズには…」

デイケイド「よし、よくわかってくれた、この世界のためにせいぜい死なない程度に頑張ってきてくれ、じゃあな。」

突如、映司の前に灰色のオーロラのカーテンが現れ、迫ってくる！

映司「ちよっとお！ 全然話聞いてないじゃないですかあ！ま、まって、ああああああああ…。」

映司は完全にこの世界から消え去った…。

デイケイド「すまない、オーズ…、さすがに無理矢理すぎたが、本当にお前にしかできないことなんだ…。

頼むぞ、『仮面ライダーオーズ』」

森には再び静寂になった…。

??? 「はやてちゃん!!!」

??? 「ん? どないした? リイン」

リイン 「空から、ぱ、ぱ……。」

はやて 「ぱ?」

リイン 「パ、パンツが
落ちてきたんですう!!!!!!」

はやて 「……………はい?」

映司 「…っ痛てて、なにが起こったんだ?」

映司は辺りを見回す。そこは見たことのない建物の廃墟が一面に広がっていた。

映司 「…え、え? えええええ!?!?」

—
—
—
物語は始まった。

002話 騎士とヤミーと復活のオーズ

時はさかのぼり、ミッドチルダ
機動6課隊舎

ブリーフィングルームにて会議が行われていた。

そこにいたのは

機動6課部隊長「八神はやて」

スターズ隊長「高町なのは」

ライトニング隊長

「フェイト・T・ハラオウン」

の、3人だった。

なのは「はやてちゃん、それで話って？」

はやて「えっとな、ついこの前の事なんやけども、ミッドチルダ市
街地で殺害事件があったんや。で、目撃者の話によると、『怪物に
襲われてた』っていう証言なんよ」

フェイト「でもミッドに『怪物』なんて…」

はやて「うん、一度も確認された事はないんよ、と、いうことは、
別の世界から来たとしか考えられへん。」

なのは「待って、でも、管理局のデータベースには…」

はやて「そう、そこや、なのはちゃん。時空管理局に引っかからず

にこのミッドチルダに次元移動なんてまず無理なんよ。と、いうことは、最初からこの世界にいた、ということになるんよ」

フェイト「ッ！ そんな!？」

はやて「まあ、フェイトちゃんが驚くのも無理もないなあ、とにかく、

この事件は私とヴォルケンリッターが主体となって動きます。事によつてはフォワードと隊長陣も動くことになるかもしれないので頭に入れといてください。」

なのは& a m p; フェイト「了解!」

一隊舎 廊下一

なのは と はやてが歩きながら雑談していた。

なのは「それにしても大変だね、JS事件が片付いて一段落したと思ったら次から次へと事件が押し掛けてきて、

はやてちゃん、体大丈夫?」

はやて「なのはちゃんにそれ言われる日がくるとわなあ…。」

なのは「にやはは、でも例の事件、はやてちゃんとシグナムさん、それとヴィータちゃんにシャル先生とザフィーラさん達だけで動くってことでしょ? 未確認の生物相手にたった数人でって、いくらなんでも危険なんじゃ…」

はやて「大丈夫、心配あらへんよ」

はやては胸をはって言った。

はやて「なんてったって私は歩くロストロギア、『夜天の主』であの子達は私を守る守護騎士たちや、なんの問題なんてあらへん！」

なのは「そっか、わかった！でもくれぐれも無茶だけはしないでね。

」

はやて「ありがとう、なのはちゃん。さて、そろそろあの子達にも説明しておかんと、

またね！なのはちゃん！」

なのは「じゃあね！はやてちゃん！」

それからしばらく時間がたち、はやての周りにはヴォルケンリツター全員が集められていた。

烈火の将 剣の騎士 シグナム

紅の鉄騎 鉄槌の騎士 ヴィータ

風の癒し手 湖の騎士 シヤマル

蒼き狼 鉄壁の守護獣 ザフィーラ

それと、今は亡き『祝福の風』の名を受け継ぐもの、
リース？ リインフォ

はやて「…と、いうことなんや。皆、わかった？」

シグナム「主、はやて 確認されている怪物というのはその一体だけなのですか？」

はやて「せや、だけどくれぐれも気を抜いちゃだめや、もしかしたら増援もあり得るからなあ」

ヴィータ「まあその怪物を取っ捕まえて全部吐かせりゃそれで事件解決って事だな！」

シャル「こら、ヴィータちゃん。女の子がそんな汚い言葉遣いしちゃ駄目でしょ！」

ザフィーラ「シャル、突っ込むところが色々違うぞ。…主、基本はシャルと隊舎で待機という形で良いのだな？」

はやて「せや、基本は私とシグナムとヴィータが前線にでて、シャルとザフィーラは待機や、あ！リンもな！」

リン「了解ですう！」

はやて「それじゃあ皆、気合いいれて、任務、開始！」

ヴォルケンス「了解！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7376z/>

ooo after ～夜天の主と欲望の王～

2011年12月24日17時48分発行